



今月のトピックス

～ 年頭のご挨拶 ～

明けましておめでとうございます。
JCOGデータセンター長の福田です。

恒例により新年のご挨拶をさせていただきます。

例年より長い正月休み、大雪に困られた地域もありましたが概ね穏やかに過ごされた方が多かったかと存じます。昨年は元旦早々の能登半島地震に始まり、各地で豪雨による水害が続き自然の脅威を感じた不穏な1年でありました。



福田 治彦

いつまで続くのかとうんざりした記録的な猛暑は秋を感じる間もなく寒い冬に取って替われあつという間に年末年始を迎えました。

コロナ禍は、中央病院では病院棟・診療棟のエレベーター等でのマスク着用は依然継続ですが、ようやく落ち着きを見せ、JCOGの各グループの会議もface-to-faceが多くなってきました。昨年のJCOG全体としての患者登録は一昨年の3,793例には及びませんでしたが、3,416例とまずまず順調でした。ご尽力いただいた参加施設の先生方に厚く御礼申し上げます。

昨年は3つの第III相試験でpositive resultsが得られました。泌尿器科腫瘍グループの膀胱癌2nd TUR後無治療経過観察JCOG1019（非劣性）と上部尿路癌ピラルビシン膀胱注JCOG1403（優越性）、およびリンパ腫グループの濾胞性リンパ腫リツキシマブ早期介入JCOG1411（優越性）です。1年で3つは過去最多でした。

データセンター/運営事務局reviewありの論文は一昨年の50本に近い47本でした。一昨年の肝胆膵グループJCOG1202に続いて、食道がんグループの術前治療の3群比較JCOG1109の主たる解析論文（筆頭著者：加藤健先生）がLANCETに掲載され、術前DCF療法の優越性が示されて欧米の標準治療である化学放射線療法に一石を投じました。また、大腸がんグループの高齢者大腸癌に対するJCOG1018の主たる解析論文（高島淳生先生）はオキサリプラチンの上乗せ効果が示されなかったnegative resultでありながらJ Clin Oncolに掲載されました。肺がん外科グループからはJCOG0802/WJOG4607Lの副次的解析論文（服部有俊先生）が副次的解析にもかかわらず、また肺がん内科グループからは早期中止となった試験にもかかわらずJCOG2007の主たる解析論文（白石祥理先生）がいずれもLancet Respiratory Medに掲載されたことも特筆されます。Practice changingなclinical questionに基づく臨床試験の重要性が再認識されたと思います。

AMEDの研究費獲得も順調で過去最多の63課題が支援を受けました。肺がん外科グループが10課題と最多です。

患者参画委員会による試験参加患者向けの試験結果の説明文書「Lay Summary」は9試験について作成・公開され計14試験となりました。プレスリリースも4件（試験結果：JCOG1109、JCOG1018、治験開始：JCOG2107E、JCOG2205）行われました。

臨床試験の質に関しては、年末の総合班会議でお示したとおり、乳がんグループに始まった「未回収CRF撲滅キャンペーン」が他のグループにも拡がり、未回収CRFは全体的に著減しました。各グループで督促にご尽力いただいたリーダーの先生方、対応いただいた施設研究者の先生方に深く感謝いたします。

医師主導治験では、データマネジメントを内製化した第2号でJCOG初のプラットホーム試験である乳がんグループのJCOG2205(S-FACT)が6月に登録開始となり比較的順調に進捗しています。今後の新規薬剤の組み込みやコホート追加が期待されます。

長らくお待たせしており、開始の延期が続いてきたJCOG-BBJ連携拡張バイオバンクもようやく今年の夏頃には始動できそうです。

標準治療の確立・進歩という従前からのミッションは堅実に果たしつつ、適応拡大やトランスレーショナルリサーチ、AI研究等の新しい取り組みにも成果が見られる年になることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

JCOGデータセンター長 福田 治彦

JCOG学会発表情報 ASCO Gastrointestinal Cancers Symposium

Gastrointestinal Cancers Symposium 2025/1/23～25

JCOG1901(肝胆膵/胃がん/大腸がんグループ)

福田 治彦 先生 国立がん研究センター中央病院	脇岡 範 先生 国立がん研究センター中央病院
JCOG1107(大腸がんG)	塩見 明生 先生 静岡県立静岡がんセンター
JCOG1301C(胃がんG)	會澤 雅樹 先生 新潟県立がんセンター新潟病院
JCOG2207(大腸がんG)	安井 昌義 先生 大阪国際がんセンター
JCOG2305A(食道がんG)	野村 基雄 先生 京都大学医学部附属病院
JCOG2212A(胃がんG)	和田 剛幸 先生 国立がん研究センター中央病院
JCOG1314S1(食道がんG)	松田 諭 先生 慶應義塾大学医学部
JCOG1109S7(食道がんG)	今関 洋 先生 国立がん研究センター中央病院
JCOG1109S5(食道がんG)	坊岡 英祐 先生 浜松医科大学
JCOG1109S6(食道がんG)	喜多 亮介 先生 JCOG運営事務局
JCOG2310AS1(大腸がんG)	平野 秀和 先生 国立がん研究センター中央病院
JCOG2310AS2(大腸がんG)	花岡 まりえ 先生 東京科学大学大学院

2024年表彰者

◆JCOG下山正徳賞

伊藤明宏先生:東北大学病院
JCOG1403研究代表者/泌尿器科腫瘍グループ
2023年12月~2024年11月主要な国際学会にて発表されたJCOG研究のうち、がん治療の進歩にもっとも貢献したと認められた研究者に贈られます。
※下山正徳先生:初代JCOG代表者



◆JCOG笹子三津留賞

竹内 裕也先生:浜松医科大学附属病院
JCOG1409研究事務局/食道がんグループ
手術に関連するもっとも優れたエビデンスを発信したと認められた研究者に贈られます。
※笹子三津留先生:初代JCOG胃がんグループ代表者



◆Best Investigator賞

西田靖仙先生:恵佑会札幌病院 /胃がんグループ
データマネージャーが選ぶ賞です。
研究への貢献度などから、この1年で、もっとも感謝の意を表したい研究者に贈られます。



◆Most Active Young Physician Award 2024

JCOG試験の年間登録数をもっとも多かった若手研究者に贈られます
田中侑哉先生:久留米大学医学部/胃がんグループ
羽田綾馬先生:浜松医科大学附属病院/食道がんグループ

受賞されたみなさまおめでとうございます!

これまでの各賞の受賞者はJCOGウェブサイトからご覧いただけます。

グループごと月間登録数



登録数月次レポート

<https://secure.jcog.jp/DC/DOC/member/report/index.html>

グループ	10月	11月	12月	合計
肺がん外科	82	80	68	230
胃がん	54	33	38	125
大腸がん	41	34	30	105
肝胆膵	22	24	21	67
リンパ腫	16	21	23	60
食道がん	21	16	20	57
消化器内視鏡	14	15	6	35
肺がん内科	9	13	11	33
放射線治療	8	13	12	33
脳腫瘍	6	10	5	21
泌尿器科腫瘍	7	9	5	21
頭頸部がん	9	6	4	19
骨軟部腫瘍	3	5	3	11
乳がん	4	1	4	9
皮膚腫瘍	0	0	0	0
婦人科腫瘍	0	0	0	0
合計	296	280	250	826

JCOG研究の論文公表



◇胃がんグループ JCOG2301デザインペーパー 喜多 亮介 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39690810/>

Randomized controlled phase III study comparing chemotherapy alone versus conversion surgery after a remarkable response to chemotherapy in patients with initially unresectable cStage IVB or pStage IV gastric cancer (JCOG2301, Conversion study), Jpn J Clin Oncol, 2024 Dec 18, Online ahead of print

◇大腸がんグループ JCOG1006 小森 康司 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39602807/>

Long-term follow-up of the conventional versus no-touch isolation technique for resection of primary colon cancer (JCOG1006): randomized clinical trial, BJS Open. 2024 Oct 29;8(6):zrae133.

担当医別月間登録数

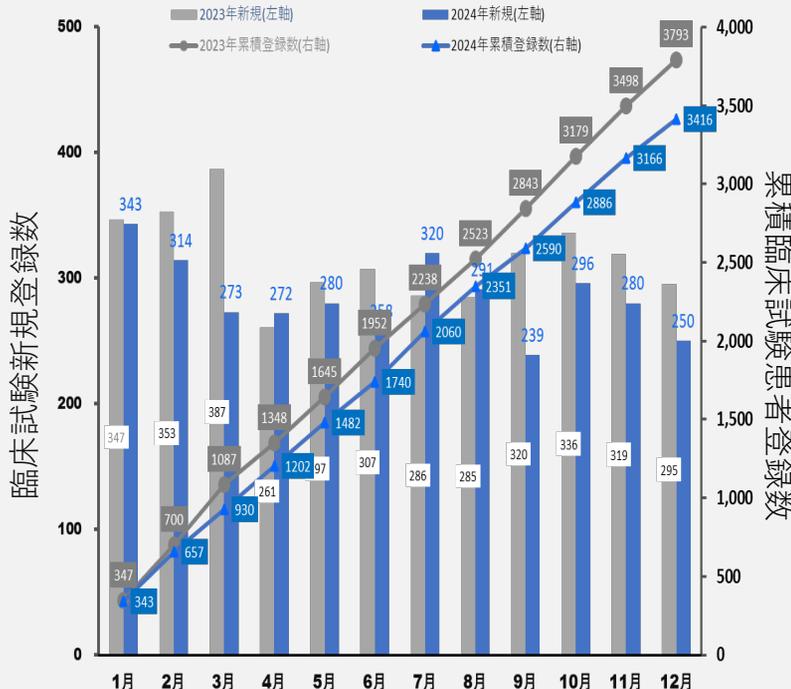
- ◇肺がん外科グループ(月間登録数:10)
渡辺俊一先生/国立がん研究センター中央病院
- ◇胃がんグループ(月間登録数:3)
三澤一成先生/愛知県がんセンター
- ◇食道がんグループ(月間登録数:2)
浜井洋一先生/広島大学病院
藤田武郎先生/国立がん研究センター東病院
- ◇リンパ腫グループ(月間登録数:5)
高橋寛行先生/神奈川県立がんセンター
- ◇大腸がんグループ(月間登録数:3)
安達智洋先生/広島市立北部医療センター安佐市民病院
- ◇放射線治療グループ(月間登録数:2)
伊藤慶先生/がん・感染症センター都立駒込病院
- ◇肝胆膵グループ(月間登録数:2)
御厨美洋先生/国立病院機構四国がんセンター
吉岡伊作先生/富山大学附属病院

(担当医別最多登録数が1例のグループは割愛しています)

JCOG
Japan Clinical Oncology Group

JCOGデータセンターより

●2024年12月の登録は250例、2024年は年間3,416例でした。過去最多だった昨年の3,793例には及びませんでした。2021年から4年連続3,000例の大台を達成しました。沢山のご登録ありがとうございました。



JCOG News 発行: JCOGデータセンター/運営事務局 JCOG Newsに関するご意見やご要望は下記までお寄せください。

Webmaster@ml.jcog.jp バックナンバーはこちら ➡ <https://jcog.jp/jcognews/>